

報告者：浅野秀藏

Aグループ・大田区深耕隊の浅野です。今週は第一フェーズ（アポ取りから実践企業決定まで）で活躍したグループメールを中心に報告します。

グループ結成の翌日にはメンバーの小暮さんがグループメールを立ち上げ、5名のメンバーと実行委員の用松リーダにリアルタイムに情報が伝達出来るようになりました。

事務局から渡された対象企業37社を5名に分割、7～8社が一人の受け持ちです。活動方針を次のように決めました。企業のアポとりまでは一人で担当、企業訪問は二人で実施。企業訪問は、アポをとった人がベアーを組む人を探す。訪問日はお客様のご要求日に合わせる。

この活動方針の実行はかなり大変でした。やっとアポがとれても、忙しい経営者ですので、「明日の10時なら会ってもいいヨ」だとか「今日の17時からだと来社OK」などスピードが要求されました。

一方我々メンバー側も、企業内ITC2名、独立系ITC3名であり各々が仕事を持っているので、「明日」とか「今日」とか言われてもメンバーに電話で「明日行っていただけますか」とか「本日OKですか」など了解を取付ける時間は殆どありません。

そこで活躍したのがグループメールです。第一フェーズの24日間で、平均メール回数12回/日、多い日にはなんと38回ものメールやり取りをしています。

下記は8月16日メール通信の一部記録です。

小西さんからメール Date: Tue, 16 Aug 2005 11:26 AM

浅野様、みなさま。電話連絡状況を報告します。30番社：専務とアポイントをとりました。18日（木）17：00の訪問です！どなたか一緒にしてくださいませんか？

田中さんから返信メール Date: Tue, 16 Aug 2005 12:57 PM

訪問先1社確定！おめでとうございます。18日（木）17：00の訪問同行可能です。よろしければ、待ち合わせ場所、時間等御連絡ください。

小西さんから確認メール Date: Tue, 16 Aug 2005 21:40

ご同行いただけるとか、ありがとうございます。駅から徒歩15分とありますので、ゆっくりと「前打ち」でもしながら行きませんか。

今までは電話で意思確認をしていたと思いますが、メールを利用するとグループ員に同時発信でき、また記録も残るので、新ビジネスツールと気づきました。フリーメールリングシステムに感謝

です。

なお、メール交信から得た実践ノウハウを列記します。

情報守秘のため企業名は出さず番号で管理する。

返信は即刻おこなう。

メールのやり取りでは意思が伝わりにくい場合が出て来るので、時々会合を開き考え方の確認をすると良い。

次回からは第二フェーズの実践活動報告をします。